

事業報告書

事業名		幼児に対する防災体験プログラムの普及と 保育者・支援者向け防災講演会
グループ名		こどもの防災を考える「ちゃっこ・こっこプロジェクト」
代表 団体	名称	一般社団法人チカク
	住所	倉敷市茶屋町 353-42 〒710-1101
	担当者	赤木 美子
	電話番号	080-2900-8110
	E-mail	ekinotikaku@gmail.com

1 目的と概要

申込時に提出した様式第 2 号の 3(1)「事業の目的」と(2)「事業の概要」をまとめ、簡潔に記入してください。

目 的 親子、および保育関係者、子育て支援者に対して、防災講演会やワークショップ
および防災体験プログラムの普及を行い、地域の防災意識向上を図るとともに子ども向け
防災プログラムの担い手を育てること。

1 具体的な災害イメージの湧く防災講演会、防災ワークショップを通じて、保護者、支
援者に対しての防災意識を高めるレクチャーを行う。災害時、避難所における女性の
役割の重要性に鑑み、このプロジェクトでは、専門的知見を有する防災のスペシャリ
ストとして、小学生以下のこどもを持つ二人の女性を想定している。

A) A = 危機管理教育研究所代表、危機管理アドバイザー国崎 信江(くにざき のぶ
え)氏による保育園・幼稚園向けの講演

B) 2 - A = 香川大学 危機管理研究センター、特命准教授 磯打 千雅子氏による地区
防災計画の概要と役割、ワークショップ。

2. 親子、および保育関係者、子育て支援者に対して、防災体験プログラムの普及を行い、
地域の防災意識向上を図ること。具体的には、現在、一般社団法人チカクが 5 歳児向
けに行っている防災体験プログラムのノウハウを、総社市の NPO 法人きよね夢てら
すの子育て支援のグループ(子育て応援こっこ)に伝え、倉敷 - 総社圏域での防災体験
プログラムのニーズに応えるものとする。

C) 2 - B = これまでの活動紹介と、一般社団法人チカクの防災士資格を持つスタッ
フによるデモンストレーション、保育園などでのプログラム実施への見学、実施

D) 2 - C = 地域ならではの課題の洗い出しと、それぞれの活動への還元。総社と倉
敷でそれぞれ地域子育て拠点(ちゃっこひろば・チカク、子育て応援こっこ)
を運営している二つの団体として交流を深め、地域の子育て中の親子のさまざま
な課題について、行政区を超えて協力できる体制を築く。

2 成果

(1) 事業の成果

受益者

- ・ 子どもに対する防災活動に興味のある、倉敷・総社および高梁川流域の子育て中の保護者および子育て支援者
- ・ 子ども防災体験プログラムを学び実践する、総社で地域子育て支援拠点を運営する「子育て応援っこ」および所属する N P O 法人きよね夢てらすのみなさん
- ・ 防災体験プログラムの担い手を増やすという点では、一般社団法人チカクおよび所属する子ども防災ネットワークおかやま

効果

- ・ 地域の防災力の向上。とくに災害弱者となる母子と老人の存在を関係者が強く認識すること。
- ・ また出来事に対して主体者として取り組む気概をプログラムの担い手を感じる事。
- ・ 子どもたちが、自らの命を守る「姿勢」を育むことができるようになること。これは災害に限らずその後の人生に有用な振り返りの機会となると考えており、少なくとも、災害に遭遇したときの自分、家族、友人などについて、考えるきっかけになること。
- ・ 行政区を越えて、防災関係者、子育て支援関係者が集まり、どのような未来を子どもたちに残したいかを糸口に、地区防災についてさまざまな議論を重ねることができたこと。

自己評価

開催曜日などの関係か、10月の講演会の集客ができなかったのがマイナスポイント。団体との連携、行政区を越えた連携体制の可能性については、想定以上の成果を得た。

100 点

3 事業の課題

事業を実施する中で浮上してきた課題を記入してください。

- ・ 災害弱者として、日中、家にいることの多い、ちいさな子どもを抱えた母子、独居老人の姿が浮かび上がってきた。
- ・ 流域という、行政区を越えて複数(当初予定 2 → 4 団体)の子育て支援団体が一緒に地域のことを考えたこと、防災士会も倉敷と総社から参加があったことは、想定外の成果だった。しかし、働きかけをしたにもかかわらず、行政(総社/倉敷)の危機管理担当課の参加がなかったことが、非常に残念であった。
- ・ また、審査時に七市三町のヒアリングを受けたのに、倉敷以外の市町村からの参加がなかったのも、流域連携とは掛け声ばかりなのかと感じ残念だった。

様式第 6 号

4 目標

申込時に提出した様式第 2 号の 7「目標」で設定した目標値に対する達成状況を記入してください。

内容	実施前	目標値	達成状況
体験プログラムの担い手	2 人	5 人	6 人
プログラム実施回数	10 回 / 年間	20 回 / 年間	10 回 / 年間

今年度は育成、実施回数については来年度以降に達成予定

5 事業完了後の取り組み

申込時に提出した様式第 2 号の 8「事業完了後の取り組み」を、事業の実施成果を踏まえ、再度検討した上で記入してください。

(1) 主となる団体名 一般社団法人チカク、NPO 法人きよね夢テラス(子育て応援っこ)

(2) 取り組みの概要

- ・ 高梁川流域(特に総社)で行われる防災体験プログラムを中心に、きよね夢テラス、チカクが協働で実施していく。
- ・ 行政区を越えた高梁川流域県での子育て支援者および防災関係者のネットワーク作りを継続して行っていく

6 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数
申請前 打合せ	5/12	きよね夢てらす	赤木、福光	—
申請前 行政ヒアリング	6/8	市民活動センター	1 + 各市町担当者	—
打合せ	7/6 18-1930	チカク(茶屋町)	赤木、磯打	—
●見学 防災体験プログラム 取材 どんぶらっこ	8/4 930-12	遍照保育園	チカク 3 こっこ 4	年長 25 名、 保育士 3 名
●関連プログラムへの参加 社会課題の解決を考えるワークシ ョップ(地域の防災について)	8/4 13-1630	倉敷市役所	こっこ 3 チカク 2	—
●全体ミーティング 今年度の実施内容について	10/26 10-11	くらしき健康 福祉プラザ	こっこ 3 チカク 6 音響 1	—
●講演会 こどもに伝える防災教育 講師 危機管理教育研究所代表 国崎信江さん 取材 山陽新聞	10/26 11-17	くらしき健康 福祉プラザ	国崎信江 こっこ 3 チカク 6 音響 1	一般 33 人
●全体ミーティング 防災体験プログラム事前準備	2/9 930-1130	きよね夢てらす	こっこ 3 チカク 4	—
●防災体験プログラム 幼児向け防災教育と地区防災計画 講師 三村芳恵(チカク)ほか	3/6 10-12	きよね夢てらす	こっこ 3 チカク 4	親子 8 組 一般 9 人
●講演会 + ワークショップ 幼児向け防災教育と地区防災計画 講師 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 地 域強靱化研究センター 特命准教 授 磯打千雅子さん 取材 FM おかやま	3/6 13-17	きよね夢てらす	磯打千雅子 こっこ 3 チカク 5	一般 19 人 こっこ 3 人 チカク 5 人
●防災体験プログラム きよね放課後児童クラブ・ランド セル	3/28 930-12	清音公民館別館	こっこ 3 チカク 3	6~9 歳 38 名、 職員 5 名
●防災体験プログラム 牛窓ルンビニ保育園	3/30 830-1230	瀬戸内市牛窓町 牛窓 4959-5	こっこ 2 チカク 2	年長 16 年中 27 年少 17 名 + 職員 12 名

収支精算書

	所属・役職	氏名
経理責任者	一般社団法人チカク 代表理事	赤木美子
経理担当者	一般社団法人チカク	崎野安代

1 収入の部

科目	内訳	予算額(円)	実績額(円)	備考
補助金	高梁川流域地域づくり連携推進事業	750,000	750,000	
その他	自己資金	70,000	39,519	
収入合計		820,520	789,519	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	予算額(円)	実績額(円)	備考
人件費	スタッフ人件費	172,800	266,250	プログラムおよび公演 実施人件費に事務局人 件費を加えた
謝金	講師謝金	300,000	233,411	
旅費交通費	講師交通費	42,720	45,650	
	スタッフ交通費	42,000	17,450	乗り合せなど多用
消耗品費	ハンドブック	10,000	0	←広島・熊本の災害を 例に講演内容を変更し たため購入せず。
	コピー用紙	2,000	1,750	
	メガホン	11,000	11,836	
印刷製本費	プリンターインク	7,000	8,380	
	コピー代	1,000	0	
通信運搬費	郵便代	7,000	18,960	小学校等への DM 発送
保険料	保険料	15,000	0	イベント保険未加入
使用料・賃借料	使用料、会場費	10,000	0	登録団体のため無料
外注費・委託費	音響など	130,000	150,979	受付業務、情報発信を 一部外注
対象経費計		750,520	754,666	
食糧費		20,000	1,853	講師弁当、お茶
印刷製本費	コピー代	0	3,000	きよね夢テラス領収
その他	企画制作管理費	50,000	30,000	
対象外経費計		70,000	34,853	
支出合計		820,520	789,519	(収入合計と一致)